

かがやき



大久保小学校 学校だよりNo.2 1
令和6年12月4日
文責 黒田 優一



輝きっ子発表会

11月29日(金)の2・3校時に行いました「輝きっ子発表会」では、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご参観いただきました。ありがとうございました。

はじめに行った「ボランティア感謝の会」では、日頃お世話になっている「あいさつボランティア」「丸付けボランティア」「放課後子ども教室ボランティア」「図書ボランティア」の皆さんに感謝の気持ちを伝え、手作りのお花をプレゼントしました。ボランティアさんからは、思いやりや感謝の心の大切さを、改めて教えていただきました。

各学年の発表では、子どもたちがこれまでの学習の成果を一生懸命発表しました。合奏や合唱、音読や群読、宿泊体験学習や修学旅行で学んだことなど、多くの人が見ている前で、しっかり声を出して発表できたことは、子どもたちの大きな自信となりました。保護者の皆様、地域の皆様、寒い中、最後まであたたかい拍手をいただき、本当にありがとうございました。

人権集会 ～12月4日から10日は人権週間～

12月3日(火)に人権集会を行いました。人権集会では次のような話をしました。

今日は人権集会です。人権について、みんなで考える日です。早速ですが、人権とは何でしょう。いろいろな言い方がありますが、人権とは、「すべての人が生まれたときからもっている自分らしく生きる権利」です。すべての人が自分らしく生きていいということです。

では、「自分らしく生きる」とはどういうことでしょうか。皆さんには、好きなことや、やってみたいことがきっと何かあると思います。自分らしく生きるとは、ルールを守りながら、「好きなことは好きでいいのだよ。」「やりたいことをやりながら、生きていいのだよ。」ということです。女だから好きなことができない、男だからやりたいことができないということがあってはいけないということです。

女だからとか、男だからとか、子どもだからとか、大人だからとか、体が小さいからとか、大きいからとか、住んでいる場所が違うからとか、外国人だからとか、身体が不自由だからとか、病気だからとか、そういった理由で、差別されてはいけないということです。

大事なことは、人権は自分にとっても大切、周りの人にとっても同じように大切だということ。自分も、そして周りの人も、自分らしく生きるという、当たり前前の方が当たり前前ができる社会、当たり前前の方が当たり前前ができる世界にしなければなりません。

今日の人権集会で、「人権」について、みんなで考えましょう。そして、一人一人の人権を、みんなで大切にしていきましょう。

人権集会では、運営広報委員会の子どもたちが進行やあいさつを行い、「本当はちょっといやかも」という人権についてのお話をしたり、DVDを見たりして、自分らしく生きることや一人一人の人権の大切さについて、みんなで考えることができました。

人権は、「すべての人が生まれたときからもっている自分らしく生きる権利」です。12月4日から12月10日までは人権週間、12月9日は障害者の日、12月10日は世界人権デーです。この期間に、自分らしく生きることや一人一人の人権の大切さについて、ぜひご家庭でも子どもたちにお話しいただければと思います。